

講義ユニット名	小児外科		所属科目名	全身性疾患制御学
講義ユニット 責任者	さえき いさむ 佐伯 勇	所属	小児外科	
講義ユニット コーディネーター	さえき いさむ 佐伯 勇	所属	小児外科	
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。各論は反転授業形式			
概 要	新生児、乳児、小児期に特有の外科的疾患、とくに、先天奇形、乳児以降の一般的外科疾患（腸重積、鼠径ヘルニア、虫垂炎）、胆道系疾患、悪性腫瘍について、疾患を理解し、手術適応と手術法の概略を習得する			
講義ユニットの 到達目標	小児外科学の意味、概念を理解する いわゆる小児外科疾患とは何かを理解し、成人外科との違いを説明できる 小児外科のcommon disease（鼠径ヘルニア、停留精巣、虫垂炎など）、肝胆道系疾患、新生児疾患、泌尿器疾患、消化器疾患、悪性腫瘍など多彩な疾患群があることを理解し、各々の特徴的で重要な疾患に関して理解を深め 代表的疾患に関してはその特徴と治療法を説明できるようになる 小児悪性腫瘍に関しては、広島大学病院が小児がん拠点病院であることから 小児悪性腫瘍の治療に関して様々な小児固形腫瘍の鑑別及び治療法に関して学習を行う。			
講義日程	別紙日程表を参照のこと			
出席の取り扱い	講義中の入退室は認めない。その他医学科のグランドルールに準ずる。			
評価項目	到達目標の達成度 （基本的理解と知識の応用）			
評価法	MCQ形式にて試験を行う。 本試験における合格基準は、60点とする。60点未満は再試験。			
予習・復習への アドバイス	講義前後にスライドを確認し、必要に応じて参考書を用いて、内容の理解に努めること			
推奨参考書	【その他、学習に有用な参考書等】 標準小児外科学			